

令和 2 年度 ともの家 事業計画

国が進めている「全世代型社会保障改革」は、子どもから高齢者まで幅広い世代の社会保障を実現すると言っていますが、実際は、国民の負担を増やし、国の社会保障費を削ることを目的としています。障がい福祉分野への影響も大きく、制度見直しの度に予算が削減され、施設経営に影響が及び、益々質の良い職員確保が困難になり、しわ寄せが障がい当事者に向かっています。

そんな流れの中で、障がい福祉制度がサービスとして位置づけられて 13 年が経過しました。サービスとして位置づけられたことによって「職員はサービスを提供するプロ」と「利用者はサービスを消費するユーザー」という形が生み出され、お互いが利用しやすさを追求するようになってきました。本来、私たちの仕事は、人と人が支え合い、人格のある人と人とが向き合うことから生まれる物語を紡ぐこと。そこには、悩みや葛藤とともに、笑いと喜びが重なり合っています。経営土台を築く事は当たり前、そしてそこで働く職員の生活保障も必須です。しかし、いちばん大切なことは、障がいのある仲間が主体的に生き、なお且つ豊かであることです。

2020 年も設立の理念を貫き、理念に恥じない「ともの家」であり続ける為に「柔軟な運営と専門性・仲間たちの声なき声を聴き、その中で多様な支援を創意工夫する」ことを重点目標とし、各部署の事業計画に繋げます。

4 月 1 日に新しい仲間を迎えます。高等部卒業の 18 歳の笑顔が素敵な女性です。社会人として、困難なこともあると思いますが、働くことで社会とつながり成長していく姿を想像し少しわくわくしています。

1. 職員のレベル向上 個々の視野を広げるための自己研修と、仲間への対応スキルを

アップさせるための外部研修を行います。

役割分担を明確にし、個々の仕事に責任を持ちます。

年末に研修報告会を実施し、自己研修・外部研修で得た知識を報告します。

2. ホーム増設に向けた検討

現在運営している 2 か所のグループホームのあり方（利用者や体制・将来像）について検討しながら、昨年購入した土地の活用方法を明確化していきます。

3. 地域発信 船越まつりの出店及びステージ発表を行います。
お店のマルシェを年2回開催します。
映画会を開催します。(東日本大震災に関連した映画)
ひだまりはうすへの協力を行います。
4. 防災対策 初動訓練を継続します。
災害時の口腔ケアの学習会を行います。
事業継続のための訓練を継続(シュミレーション)します。
5. 事業形態の見直し 就労B事業を生活介護にして経営の安定を図る検討を行います。
6. 仲間の高齢化への対応 ホームの職員体制強化を行います。
あすなろの家とのパイプを太くして行きます。

7. グループホーム「SUN」隣接地購入について

<現状と見通し>

グループホームは「特殊建築物」(公共、社会性の高い建築等)といい、建築基準法+県条例が適用され建築敷地は4m以上の行動に4m以上接することが求められています。現在地の通路幅がそれにあたり、公図上4mを満たし申請は受理されています。この通路部分は法人と隣家望月様との共有地です。完成検査において、隣家の軒・設備器具がはね出し、有効幅が4mを切っていることが指摘され、原状復帰が求められました。設計者の現状認識の甘さを指摘されましたが、開設を直前に突然隣家に改修を求めることもできず、北側隣地江川様のご厚意で、空地4mを敷地幅とさせてもらい再申請し、適法許可を得て、開所に至った経緯があります。

そのため、将来隣家望月様が土地売却の可能性が出た時は、法人として取得し、現在の書面上不正常を解消したいと考えていました。

望月様は、ここ1年、空き家になっており、いずれ売却を考えているとの情報が入ったため、売却の際は、声を掛けて頂きたいと伝えてあります。

8. 事業全般

○就労継続 B

- 仲間 1 名を迎えます。ゆっくりしたペースで自分の居場所を見つけ、馴染めるように支援します。
- 新たな職員を迎えます。個々の職員の価値観で仲間支援をしないよう、支援計画を柱に、共通認識をもって、仲間のニーズを捉えます。
- お店を起点に、仲間たちとともに、活気ある作業の場として継続します。

○生活介護

- 作業と活動、心身のバランスに留意しながら、健康でストレスの少ない生活を目指します。
- 新たな職員を迎えます。個々の職員の価値観で仲間支援をしないよう、支援計画を柱に、共通認識をもって、仲間のニーズを捉えます。
- 個別対応が必要な仲間が増えています。医療との連携や生活スタイルの見直しをスピード感を重要に行います。

○グループホーム

- ホームの体制が大きく変わり、新たな職員も加わります。個々の職員の価値観で仲間支援をしないよう、支援計画を柱に、共通認識をもって、仲間のニーズを捉えます。
また積み上げてきたものは大切にしながらも、新鮮な空気で新しい風を吹き込むことが出来たらと考えます。柔軟な発想で、生活の場の充実を目指します。
- 仲間や家族の状況に合わせて、通院等、その都度対応できるよう体制を整えます。
- 仲間がホッと出来る場所として、環境整備や職員の共通認識に努めます。